

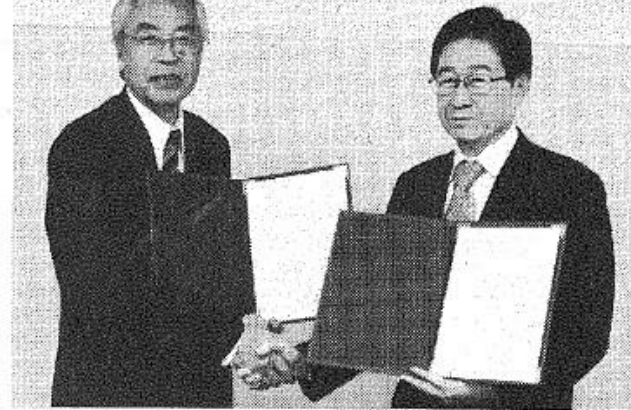
# 連携強化へ合意書

JS・水コン協

## 補完モデルなど模索

JS日本下水道事業団  
(辻原俊博理事長)と全  
国上下水道コンサルタン  
ト協会(野村喜一会長)

### 連携強化に向けた合意書 調印



JSが民間団体と締結するのは2例目

は3月23日、都内のJS  
本社会議室で、連携強化  
に向けた合意書を締結し  
た。JSと水コン協間で、  
従来の受発注者の関係に  
とらわれない「イコール  
パートナー(対等関係)」  
として相互に協力し、地

方公共団体  
支援の最適  
解を模索し  
ていく。J  
Sが民間団  
体と同様の  
協定を結ぶ  
のは、施設  
協に続き2  
例目。  
合意書で  
は、▽円滑  
な災害支援  
に向けた連携▽事業主体  
である地方公共団体の実  
情に即した支援▽設計等  
業務の実施における課題  
の抽出、解決——等の事  
項について相互協力を図  
る。  
両者は、自治体からの

単なる設計業務の受注の  
みならず政策立案、計画  
策定等も含めた提案がで  
きるよう、補完者として  
の役割分担や連携策を模  
索するとともに、ビジネ  
スとして成立する補完モ  
デルの構築を図りたい考  
え。  
年1回の頻度で、JS  
理事クラスと水コン協正  
副会長クラスの意見交換  
を定期的に実施する。  
合意書締結に際し、辻  
原理事長は「事業全体が  
大きな構造変化を迎える  
中、従来の仕事の進め方  
を変えなくてはならな  
い。そのためにも自治体、  
企業の3者で連携強化を  
図る必要がある。そのた

めの「第一歩」と意義を語  
り、野村会長は「平時の  
みならず自治体への災害  
支援も含めJSとは相互  
に協力できると考えてい  
る」と展望を語った。